

ネットワーク構築による 共同制作の現状と可能性

音楽事業の連携シンポジウム

昨今、全国の複数のホールがネットワークを構築して、プロダクション等と連携した共同制作の公演が多く見られます。公立劇場間のネットワークから、民間劇場間のネットワーク、民間プロダクションと連携した劇場間のネットワーク等様々な連携が見られます。

文化庁等の公的機関でも共同制作支援等の助成事業の拡充もあり、連携のメリットを活かした事業展開は、今後も増加してくると思われます。

しかし、昨今の共同制作ネットワークの連携の在り方については、劇場間の連携や、劇場とプロダクション(演奏団体)による連携が多く、そのネットワークの連携先として、アーティストを擁する音楽事業者が参画していない事例が多く見受けられます。

従来のように鑑賞事業が音楽事業の主流を占めた時代から、現在では「鑑賞」と「普及」が事業活動の両輪として注目され、普及事業の在り方も様々な形態で変化している時代にあって、アーティストと共に時代の最先端の音楽活動をリードしている音楽事業者の存在は、今後欠く事の出来ないパートナーとなるに違いありません。

今回のシンポジウムでは、多様化する様々なネットワークによる事業展開の事例から、現状報告を踏まえ、課題や問題点を共有すると共に、より良いネットワーク事業の展開には何が必要なのかを探りたいと思います。

基調講演とシンポジウム

基調講演

小林 沙羅 (ソプラノ歌手) アーティストからの現状報告

全国共同制作プロジェクト

歌劇「フィガロの結婚」～庭師は見た!～新演出より

シンポジウム

ネットワーク構築による共同制作の現状と可能性

パネリスト

上野 喜浩 すみだトリフォニーホール チーフ・プロデューサー (公財) 墨田区文化振興財団 音楽事業係長

中村 よしき 東京芸術劇場 音楽制作 [(公財) 東京都歴史文化財団]

仁科 岡彦 (公財) 日本オペラ振興会 事業部部長

大和 滋 (公社) 日本芸能実演家団体協議会 参与

司会・コーディネーター

入山 功一 (一社) 日本クラシック音楽事業協会 副会長 / (株) AMATI 代表取締役社長



©NIPPONIC@LUMBIA
小林 沙羅



上野 喜浩



中村 よしき



仁科 岡彦



大和 滋



入山 功一



〒151-0052 渋谷区代々木神園町3-1

2017 **2.10** [金] 13:30~15:30 (受付開始13:00~)
国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟402会議室

入場無料(要事前申込) 定員120名 *定員になり次第締め切らせていただきます。

- 小田急線 ■ 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線 ■ 代々木公園駅下車(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分
- 京王バス ■ 新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車、渋谷駅西口(40番)より 代々木5丁目下車

主催・問合せ：一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 TEL.03-5719-7602
共催：公益社団法人全国公立文化施設協会

申込用紙 FAX:03-5719-7603 [切り取らずご送信ください]

info@classic.or.jp [メールの件名を 2月10日シンポジウム申込 とし、下記の事項をお送りください]

上記シンポジウムに参加を申込みます。

ご所属

お名前

ご住所 〒

ご連絡先 TEL

()

E-mail

@